

2012/ 1 / 11開催・資産運用セミナー

成長資本としての株式への投資が成り立つ条件

～キャピタルストラクチャ最下位にすぎない株式が魅力をもつ条件～

## 結果報告

HCアセットマネジメント株式会社



# 「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

---

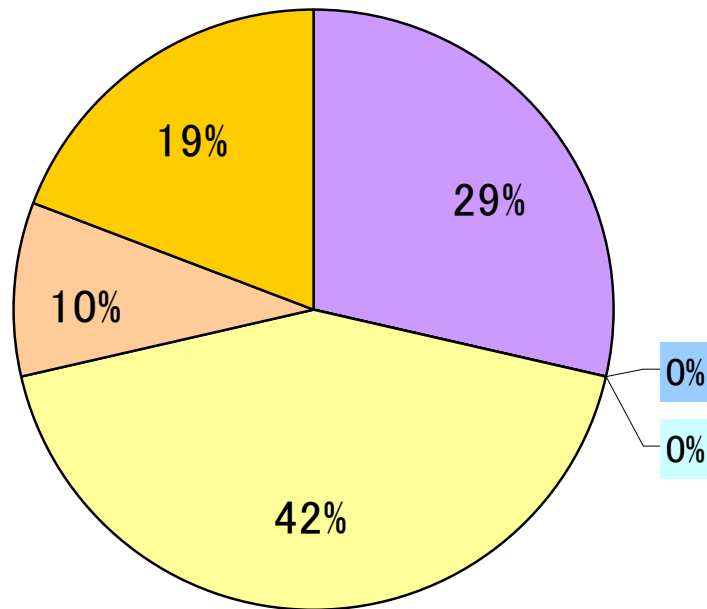
株式投資についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数           計38名
- ・アンケート回答者人数       計21名

**回答率 : 55%**

※小数点第一位以下切捨

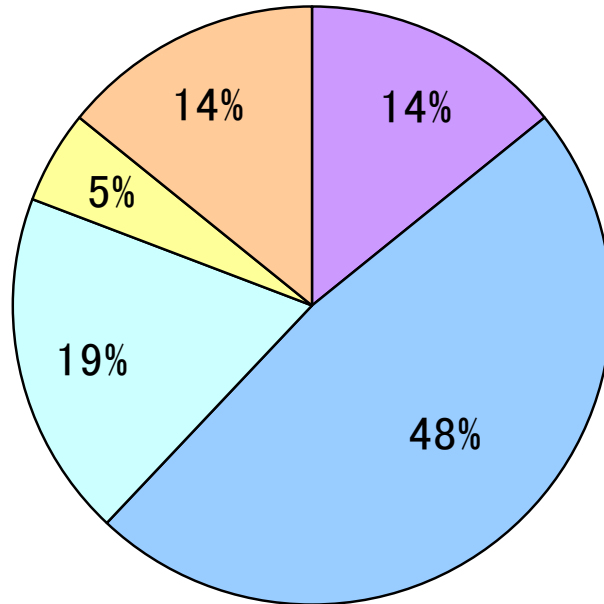
# アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	6
②	0
③	0
④	9
⑤	2
⑥	4
合計	21

- ① 年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ② 金融機関の自己資産運用担当者
- ③ 大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④ 投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤ コンサルタント
- ⑥ その他

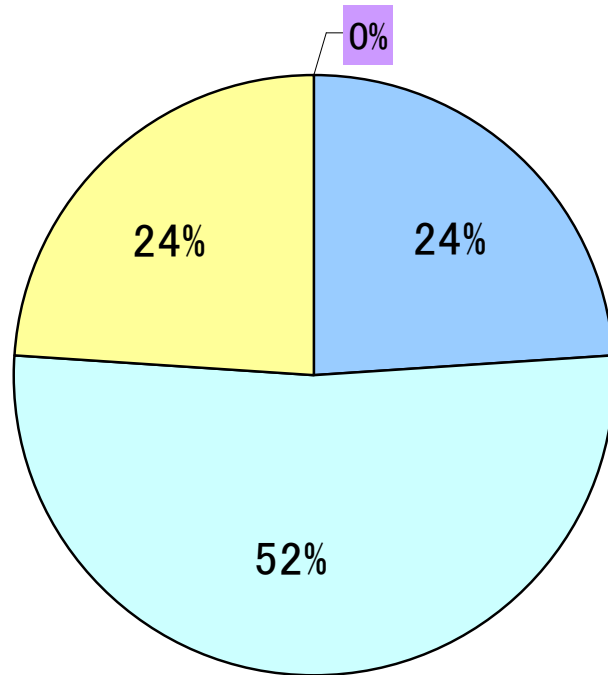
Q1 投資家の視点に立ち、また株式全体の組み入れを維持するという前提のとき、内外株式の配分について、どのようにお考えでしょうか。  
一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	3
②	10
③	4
④	1
⑤	3
合計	21

- ① 日本株式を減らして外国株式を増やす方向で、株式内部の調整を行う
- ② 日本と外国という区分を廃止して、グローバル株式へ一本化する。結果として、日本株式の実質的組み入れが減るのは当然
- ③ 相対的に割安な日本株式を増やし、外国株式を減らす方向で、株式内部の調整を行う
- ④ エマージング市場の株式を増やし、他を減らす方向で、株式内部の調整を行う
- ⑤ その他

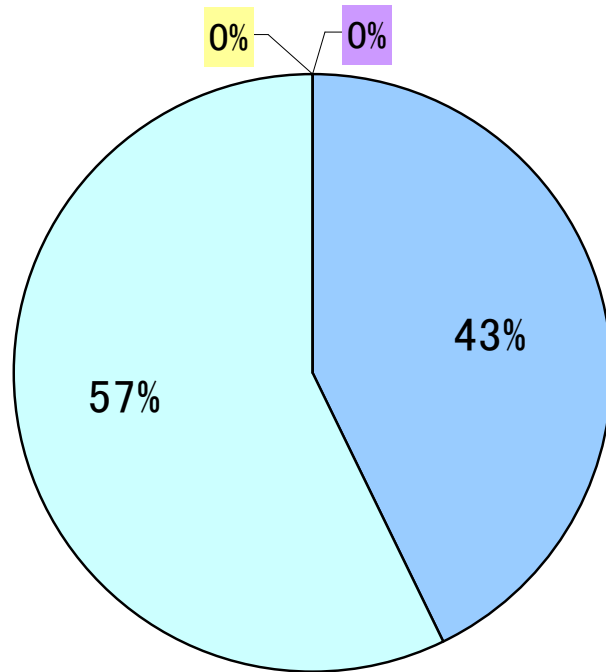
Q2 投資家の視点に立ち、また日本と外国の株式全体の組み入れを維持するという前提のとき、アクティブ運用とインデックス運用の配分について、どのようにお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	0
②	5
③	11
④	5
合計	21

- ① 全てインデックス運用
- ② インデックス運用を増やし、アクティブ運用を減らす
- ③ アクティブ運用を増やし、インデックス運用を減らす
- ④ 全てアクティブ運用

Q3 株式(日本および外国)に対する年金基金の投資のあり方について、どのようにお考えでしょうか。  
一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	0
②	9
③	12
④	0
合計	21

- ① 期待収益率と許容できるリスクを考えると、原理的に株式投資はなじまないの、投資する必要はない
- ② 年金基金にとっては、必要不可欠な投資対象であり、組み入れ比率の問題はあるにしても、なくなることはあり得ない
- ③ 状況に依存するものであって、魅力度が低いときには投資する必要はない。要は、魅力度に応じて、ゼロも含めて、組み入れを検討すればよい
- ④ その他